

# インド・インドネシア出張について

平成 29 年 8 月

7月26日から29日の日程でインド、インドネシアに出張しました。安倍総理が提唱している「自由で開かれたインド太平洋戦略」を推進するため、インドのスワラージ外相やインドネシアのカッタ副大統領ら両国要人と会談を行いました。

## 1. インド

### (1) スワラージ外務大臣との会談

アジアにおける二大民主主義国として、普遍的価値と戦略的利益を共有する日本とインドが、アジア地域の将来のために連携を深めていくことが重要という認識で一致しました。私より、安倍首相からモディ首相へのメッセージを伝えたのに対し、スワラージ大臣は、「この後にモディ首相に会うのでメッセージを伝える。安倍首相のインド訪問を成功させたい。心待ちにしている」と述べました。



### (2) ゴヤル電力大臣との会談

エネルギー政策を中心に意見交換を行いました。私より、エネルギーミックスは、安定性、経済性、安全性、環境性の4つのバランスが重要であり、日本がこれらを担保するための研究開発を進めていることを紹介しました。ゴヤル大臣は、日本の技術力とインドの製造業が協力することにより、国際競争力を高められると、両国の一層の協力を期待を示しました。

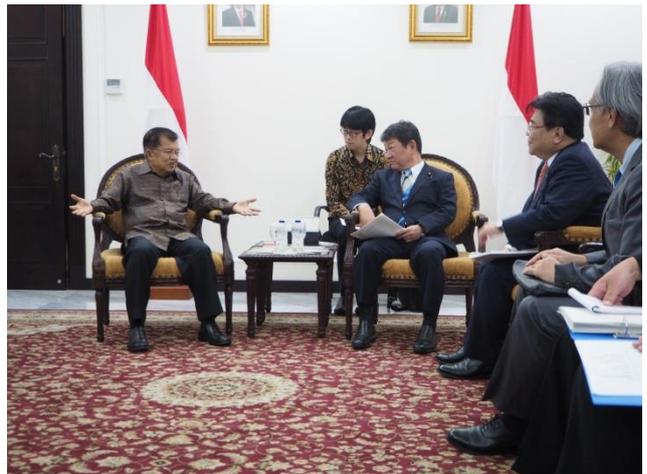
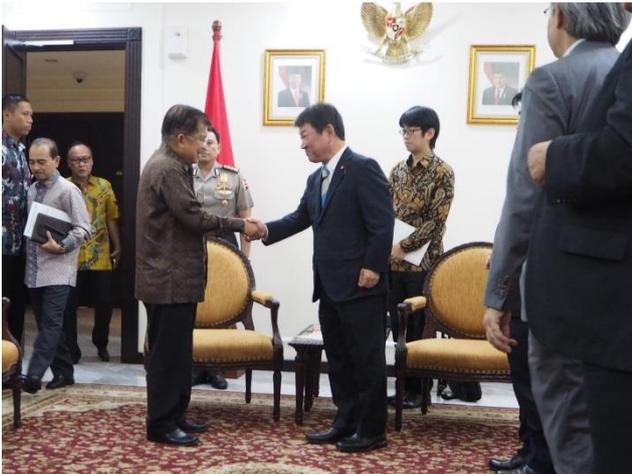


## 2. インドネシア

### (1) カツラ副大統領との会談

電力や運輸などのインフラ整備への協力、新たな段階の脅威を迎えている北朝鮮問題、中国による海洋進出など幅広いテーマについて意見を交わしました。

私より、来年は日本とインドネシアの国交樹立60周年であり、両国の関係をさらに高める契機にしたいと呼びかけました。カツラ副大統領は、投資、貿易、インフラのほか、さまざまな分野で協力が強化されており、今後も両国の良好な関係が継続することを期待していると応じました。



### (2) プラモノ内閣官房長官との会談

日本とインドネシアが、政府間だけではなく、さまざまなレベルで交流を深めることによって関係を強化していくことが重要だという認識を共有しました。

また、私より、北朝鮮問題での対応について連携を呼びかけました。プラモノ長官は、北朝鮮問題に対するインドネシアの立場は基本的に日本と同じだと表明しました。

### (3) ハスト闘争民主党幹事長との会談

ジョコ大統領が所属する闘争民主党（PDIP）のハスト幹事長とPDIP党本部で会談しました。PDIPが、インドネシアの国是「パンチャシラ」の推進により、社会の寛容性維持に努めていることに敬意を表し、政調会長として自民党とPDIPの関係強化を呼びかけました。ハスト幹事長は、国交樹立60周年を契機に、投資分野だけではなく、議員間交流も強化したいと応じました。

